

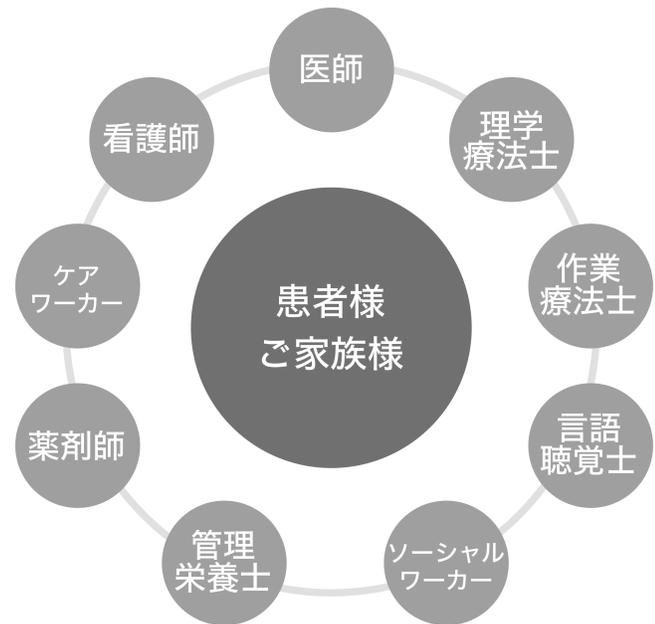
【回復期リハビリテーション病棟とは？】

脳卒中、脊髄損傷、下肢の骨折などで急性期（救命医療や手術等の時期）の治療が終了した後、従来の機能リハビリだけでなく、退院後の家庭生活の自立をめざして個別的、具体的、集中的にリハビリを行う病棟です。

【リハビリチームが効果的に支援します】

私たち南港病院リハビリチームが、患者様・ご家族様と一丸となって、一日も早い家庭復帰・社会復帰のお手伝いをさせていただきます。

リハビリテーションは、患者様・ご家族様と
私たちリハビリチームの協同作業です



【回復期リハビリテーション病棟だからできること】

point 1

ユマニチュードを
取り入れたリハビリ

point 2

最大180日間の入院期間

point 3

日曜、祝日もリハビリを実施

point 4

充実のリハビリプログラム

point 5

チームアプローチで
機能回復を支援

回復期リハビリテーション病棟は疾患によって入院期間が決められています。

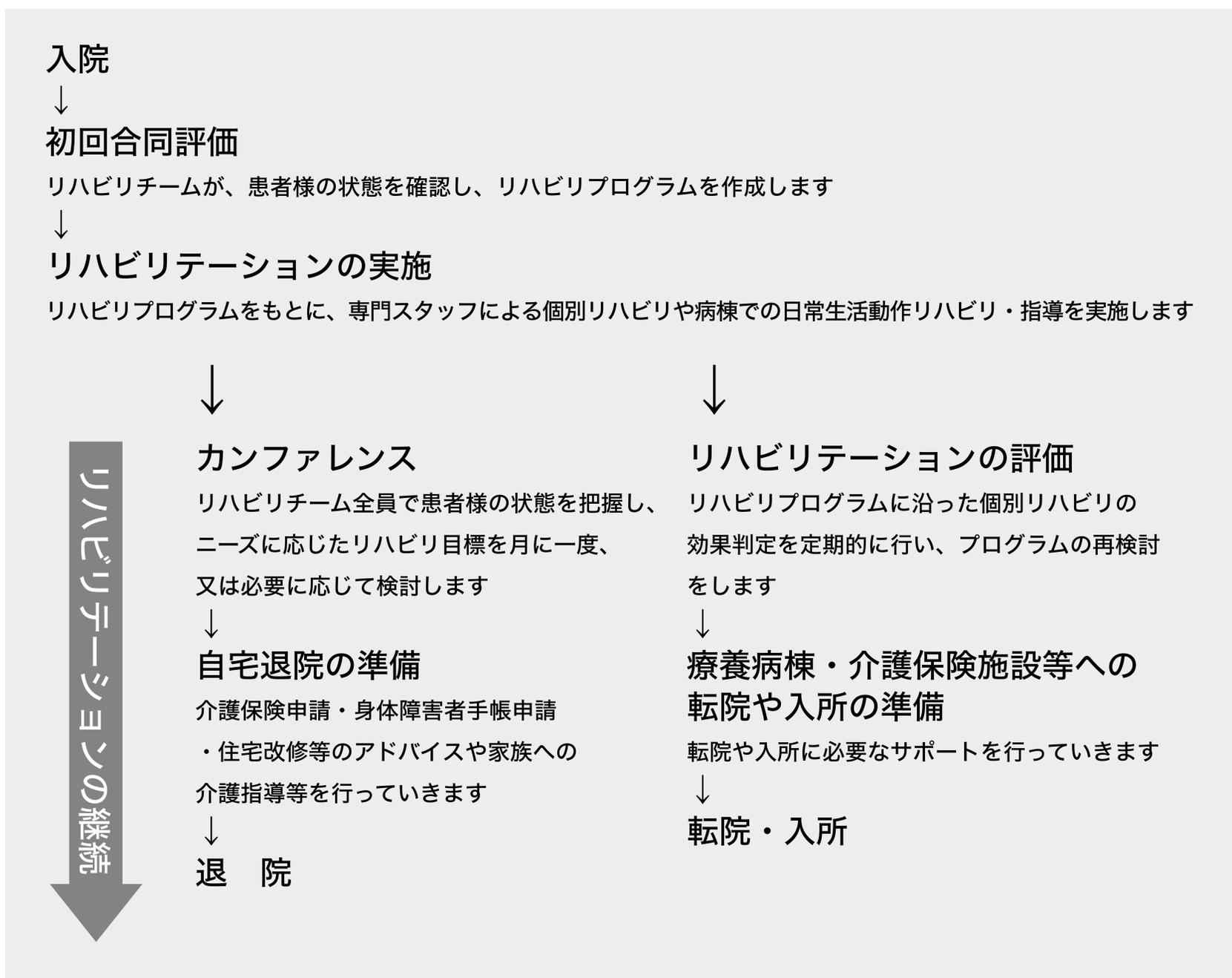
ただし、医学的にリハビリの継続が必要と判断される場合は、当院の特徴である「療養病棟」や「訪問リハビリ」等を利用してリハビリを継続することが可能です。

※ リハビリの実施時間や入院期間は、病状や傷病名によって異なります。

【回復期リハビリテーション病棟の対象疾患】

対象疾患及び入院可能な状態	入院可能な期間
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後又は手術後の状態の方又は義肢装着訓練を要する状態の方	150日以内
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の場合	180日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態の方	90日以内
外科手術又は、肺炎等の治療時の安静により「廃用症候群」を有しており、手術後又は発症後の状態の方	90日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態の方	60日以内
股関節又は膝関節の置換術後の状態の方	90日以内

【入院から退院までの流れ】



お問い合わせ

地域連携室 ☎06-4702-8009

【回復期リハビリテーション病棟 回復率実績 (R5.4/1～6/30)】

重症者割合

毎月平均83.1%

重症者改善率

毎月平均67.0%

アウトカム指数

毎月平均60.57

全国中央値45.2

※回復期リハビリテーション病棟連絡協議会（2023年2月発行）資料より

疾患別の割合

運動器疾患 92%

脳血管疾患 8%

廃用症候群 0%（運動器疾患を主として、肺炎などでSTのみ廃用で介入あり）

疾患別の在院日数

運動器疾患 36.6日

脳血管疾患 27日

全国平均66.2日※回復期リハビリテーション病棟連絡協議会（2023年2月発行）資料より

転帰先

自宅 70.8%

在宅 16.7%

老健・施設 8.3%

転科・転院 4.2%